

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 25日

秋田県知事 殿

提出者 宮城県仙台市青葉区二日町4番11号

住 所 前田建設工業株式会社 東北支店

氏 名 常務執行役員支店長 坂西 将徳

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 022-225-8804 (安全環境部)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	前田建設工業株式会社 東北支店
事業場の所在地	宮城県仙台市青葉区二日町4番11号
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日まで

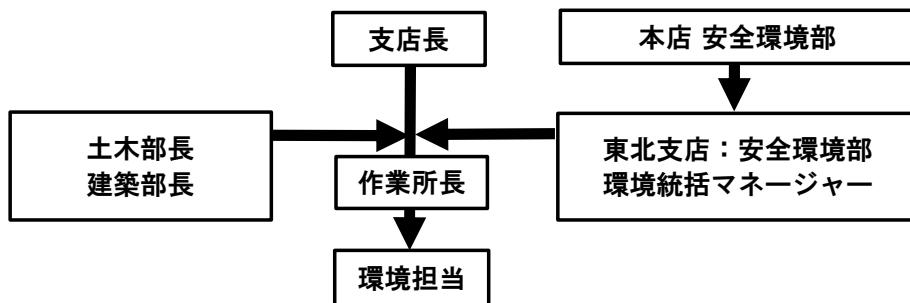
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	2024年度 東北支店 完工高462億
③ 従業員数	東北支店 計画期間内のべ284名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>The flowchart illustrates the waste management process. It starts with '解体・改修工事' (Demolition and renovation work) and '分別解体' (Separate dismantling), which leads to '新築工事' (New construction work). This is followed by '廃棄物発生抑制' (Waste generation prevention) and '廃棄物再生利用' (Waste recycling). The waste is then categorized through '廃棄物分別' (Waste separation) into various types: 木くず: 再生材・製紙用原料 (Wood shavings:再生 materials, paper raw materials); コンクリートがら: 再生砕石 (Concrete debris:再生 crushed stone); アスコンがら: 再生アスファルト (Asphalt debris:再生 asphalt); 汚泥(有機): 堆肥等 (Organic sludge: Composting); 汚泥(無機): 再生材 (Inorganic sludge:再生 materials). These separated materials then undergo '収集運搬' (Collection and transport) and '中間処理' (Intermediate treatment). Finally, the waste is processed through '再生' (Recycling) and '最終処分' (Final disposal), leading to '埋立て' (Landfill).</p>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
②計画	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ゼロエミッション活動を全現場に展開し、職員、協力会社、作業員が一体となって建設廃棄物の発生抑制、再生利用に努め、建設廃棄物最終処分量の減量化に努めた		
②計画	【目標】 別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
②計画	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙1のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1のとおり

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

**2024年度産業廃棄物処理計画実施状況報告書 および
2025年度産業廃棄物処理計画 排出目標**

排出事業者名 前田建設工業(株)東北支店
(単位:t)

産業廃棄物の種類		コンがら	アスコン がら	がれき類	陶磁器 ガラスくず	廃プラ	金属くず	混合 (安定型)	石綿含有 廃棄物	水銀使用製 品	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	磨石膏 ボード	混合 (管理型)	廃油	燃え殻	塗料 廃アルカリ	合計
排出抑制	前年度排出量(実績)	1631.5	268.4	0.0	0.0	7.0	0.0	2.8	0.0	0.0	79.1	0.0	304.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2,292.8
	本年度排出量(計画)	1550	256	0.0	0.0	7.0	0.0	3.0	0.0	0.0	76.0	0.0	289.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,182.0
自ら再生利用を行った(行う)量	前年度実績																			
	計画(目標)																			
中間処理量	前年度実績																			
	計画(目標)																			
自ら中間処理により減量した(する)量	前年度実績																			
	計画(目標)																			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量	前年度実績																			
	計画(目標)																			
全処理委託量	前年度実績	1631.5	268.4	0.0	0.0	7.0	0.0	2.8	0.0	0.0	79.1	0.0	304.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2292.8
	計画(目標)	1550.0	256.0	0.0	0.0	7.0	0.0	3.0	0.0	0.0	76.0	0.0	289.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2182.0
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.1
	計画(目標)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0
再生利用業者への処理委託量	前年度実績	1,631.5	268.4	0.0	0.0	7.0	0.0	2.8	0.0	0.0	79.1	0.0	304.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2,292.8
	計画(目標)	1,306.0	215.0	0.0	0.0	6.0	0.0	3.0	0.0	0.0	64.0	0.0	244.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,839.0
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績																			
	計画(目標)																			
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績																			
	計画(目標)																			

載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、下段に記載のそれぞれの内訳を記載してください。
- 「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。